

〔植物ニュース〕

丸子町のシダレエノキ

白井幸長

丸子町農協東内支所前にあった国の天然記念物シダレエノキ（大正9年7月17日指定，樹齢約300年，樹高約13m，幹周囲約2.5m）は，昭和52年に枯死した。この親木から小平千之（こだいらかずゆき）氏が，よびつぎをして育てた子木が丸子町に寄贈された。そして，次の3ヶ所に分散させて保護し，親木同様に国の天然記念物に指定されている。榎実の家に2本，丸子町文化会館に3本，丸子町郷土博

物館に3本と計8本があります。榎実の家のシダレエノキは樹高約3.7m，直径約6.5cmである。

シダレエノキはケヤキと同じニレ科の落葉高木である。樹冠は屈曲した枝の上部が，それぞれ丸くこんもりして，特有の姿をなし，そのこんもりしたところから多数の細長い枝が柳のごとくたれさがる。秋には多くの褐色の甘い実をつける。

